

## 評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105750
法人名	有限会社イヨメディカル
事業所名	グループホームみゆき2
所在地	松山市北斎院町947-1
自己評価作成日	平成28年6月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成28年8月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>散歩を通じて、地域の方々と交流を図り、ホームに気軽に足を運んで頂けるよう努めている。また入居者一人一人は地域の一員としてホームで生活を送れるよう努めている。一人一人は自分のペースで充実した毎日を送れるよう、日頃から密に関わりを持ち、入居者の希望や要望を一つでも多く具現化していけるよう努めている</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>玄関までのアプローチには、花や緑を整備している。室内は職員が掃除を行っており、行き届いていた。</p> <p>6月に管理者の交代があった。管理者は「職員で考えながら変えていけるようにしたい」と話しており、職員とケアに取り組みながら、意見や提案を聞いている。又、管理者からも提案をして、ミーティングで話し合いながら取り組みをすすめている。勤務希望等を探り入れて働きやすい職場作りにも努力している。法人全体で職員のストレスチェックを行った。</p> <p>ごみ出しの際には、近所の方達との交流がある。事業所で行う夏祭りには近所の方も参加しており、差し入れてくれるような方もいる。又、利用者と仲良くなった近所の方が、時々話をしに来てくれる。近くに住む一人暮らしの高齢者と交流があり、体調不良時に救急車を手配してあげたようなこともあった。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -  
“ 愛媛県地域密着型サービス評価 ”

事業所名 有限会社 イヨメディカル

(ユニット名) グループホーム みゆき2 (1F)

記入者(管理者)

氏名 嶋屋 浩典

評価完了日 H 28 年 6 月 20 日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 介護業務をする上での理念に基づき、家庭的なホームを目指して取り組んでいる。また目に入る所に理念を飾り、統一したケアが行えるように実践している。	
			(外部評価) 家訓に基づき「笑顔で！優しく！親切に！」と目標を作っており、居間や階段、スタッフルームに掲示している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の方々が気軽に足を運んで下さるようにホームの行事案内を近所の方々に配布したり、地域の行事に参加してコミュニケーションを図り地域の一員として地域のために活動出来るよう心掛けている。	
			(外部評価) ごみ出しの際には、近所の方達との交流がある。事業所で行う夏祭りには近所の方も参加しており、差し入れしてくれるような方もいる。又、利用者と仲良くなった近所の方が、時々話をしに来てくれる。近くに住む一人暮らしの高齢者と交流があり、体調不良時に救急車を手配してあげたようなこともあった。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議の時に事業所の活動内容の報告や勉強会の資料を配布して、現在事業所で取り組んでいる事を報告させて頂いている。また、地域の方々が抱えている問題などを聴く相談役も担っている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>二か月に1回開催している運営推進会議の中で、近況報告やミーティングで話し合った事を伝えている。家族や地域の方々の意見を真摯に受け止め、質の良いケアを提供出来るように取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>地域の方との関係作りを目指して会議を行っている。会議には、町内会長や民生委員、家族が参加しており、事業所から利用者や活動の状況を報告している。地域の方は、町内の活動の現状等を話してくれる。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市の担当者と日頃から密に連絡を取り合い、指導・助言を頂いている。運営推進会議にも参加して頂き信頼関係を構築している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時には、市の担当者から感染症の注意喚起等がある。又、地域の方からの市に対する意見や質問等を聞いてくれている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束ゼロを掲げ、施設全体で身体拘束廃止に向け密に話し合い取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>外部研修で身体拘束や虐待について勉強した職員が、ミーティング時に口頭で報告している。一人で出かけて行った利用者があり、現在は、ユニットの出入り口や玄関に鍵をかけているが、安全と自由の両面から利用者の立場に立ち、暮らしのあり様について点検してみしてほしい。鍵をかけることの弊害についても、職員で話し合ってみてほしい。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  外部の研修や勉強会に参加して知識を深め、ミーティングの時に研修報告の場を設け知識の共有を図っている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  外部の勉強会や研修に参加するよう促している。またミーティング時に勉強会の場を設け知識を深めている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  本人と家族が納得して下さるよう丁寧に説明し、安心感を持って利用して頂けるよう誠心誠意対応している。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  面会時家族に希望や要望を伺い一つでも実現出来るよう心掛けている。また意見箱を設置しており、意見や要望に耳を傾け、真摯に対応している。  (外部評価)  夏祭り等の行事時には案内して参加を呼びかけている。運営推進会議の後、家族に集まってもらい「家族会」を行い、「不安や不満に思っていること」等を聞き取っている。「みゆき2便り」は行事時の写真を載せて年2回発行している。今後はホームページを開設して情報発信していく予定がある。	外部評価に際しての家族アンケート結果も参考にして、家族との関係作りについて工夫ある取り組みをすすめてほしい。家族が、気がかりなことや、意見、希望を職員に気軽に伝えたり相談したりできるように、来訪時の声かけや定期的な連絡等を積極的に行ってほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 業務マニュアルを作成し、責任を持って業務に取り組めるよう心掛けている。また職員自らが課題や問題点を見つけ、話し合い、解決策を確認し合って、介護現場で実践に繋がるように努めている。 (外部評価) 6月に管理者の交代があった。管理者は「職員で考えながら変えていけるようにしたい」と話しており、職員とケアに取り組みながら、意見や提案を聞いている。又、管理者からも提案をして、ミーティングで話し合いながら取り組みをすすめている。勤務希望等を採り入れて働きやすい職場作りに努力している。法人全体で職員のストレスチェックを行った。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 外部の研修や勉強会に力量に合った職員を選出し、参加する事で役割や役職を設け意欲向上が図れるよう心掛けている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修案内を提示し、参加の声掛けをすることで、外部研修の参加率が上がり、職員又は職場のレベルアップにつながっている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 系列の施設内で外出や行事の参加する事によって交流が図れている。それ以外の同業者との交流は、研修を通じて情報交換している。	
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 本人の想いや希望を受け止め、十分に話し合いを行い安心して生活して頂けるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族の想いや気持ち等全てに尊厳を持って傾聴し、受け止め密に連絡を取り、家族にも安心して生活して頂けるよう心掛けている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居の段階の時点で担当者を設け、本人、家族をとの関わりに重きを置き、必要をしている支援を行っている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 会話の中で本人の好きな事や習慣になっていた事など情報を集め、家での生活が引き続き継続して行えるよう家族からも伺い安心して生活出来るよう心掛けている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の想いや希望を真摯に受け止め、生活の中で活かしていける様心掛けている。また密に連絡を取り家族からも信頼して頂けるよう努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族や友人等、顔なじみの方など、気軽に来所して頂けるように声をかけたり、来所しやすい雰囲気作りを心掛けている。	
			(外部評価) 利用者が以前によく買い物に行っていたショッピングセンターに買い物に出かけたり、以前行った事のある花の名所に出かけるようなこともある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 日常生活を共に過ごしていただく中で、利用者同士や利用者と職員に馴染みの関係が生まれ、気の合う利用者同志の関わり合いや支え合いが自然に出来上がっている。一人で静かに過ごすことを好む利用者は、スタッフが、関わりを多く持つように努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 可能な限り相談・支援を行い、サービスが終了してからも安心して生活して頂けるよう真摯に対応している。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者ひとりひとりの暮らしの希望や思いを把握することに努めている。本人願いを一つでも実現出来るように、前向きに取り組んでいる。	
			(外部評価) 利用者、家族からのケアや暮らしについての意向は、一つにまとめており、意思表示が難しいような利用者については家族の意向に偏りがちになっている。	意思の表出が難しい方についてのアセスメントに工夫してほしい。利用者一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、こだわりや大切にしてきたこと、生活環境等の情報を整理して介護計画に活かしてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人、家族、前利用施設の関係者から情報を集め十分に理解し、ホームの生活でも馴染のある生活が継続していけるよう努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人一人の想いや希望を日常生活の会話の中から引き出し、職員全員で情報共有を行い、実現出来る様に努める	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング                      本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)                      本人・家族の願いをもとに、担当者・計画作成担当者・ケアマネ・管理者が介護計画の原案を作成し、家族に送付して意見を聞いている。この原案をもとに、カンファレンスを行い全職員で、検討をしている。一か月ごとにモニタリングをし、記録に残している。原則、半年ごとの見直しを行い、心身の状態に著しい変化があった利用者については、その都度見直しをしている。</p> <p>(外部評価)                      介護計画について毎月話し合い、モニタリングを行う仕組みがあり、半年ごとに見直しを行っている。介護計画は、現在、申し送り時に内容を伝えるようになってきているが、さらに、計画内容をすべての職員で把握・理解し、共有するような仕組みを作してほしい。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映                      日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)                      本人が発した声や表情などに着目し、活動内容の様子や不穏になった時の対応方法など本人の様子を記入するよう心掛けている。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化                      本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)                      体調不良時の受診、入退院時に家族に代わって付き添ったり、緊急時には24時間迅速な対応をしたり、その他衣替え・買い物・外出等、本人の想いを家族と相談して代わりに行くように努めている。</p>	
29		<p>○地域資源との協働                      一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)                      散歩の時、利用者と馴染みの関係ができた町内の方が、自宅で育てた野菜を届けてくださったりして、入居者一人一人が地域の一員として関わりを深められるよう努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 本人と家族の意見・要望を密に相談を行い、希望する医療機関で受診できるように支援している。また、主治医による二週間に一回の往診、緊急時には迅速に対応出来るよう連携も整っている。</p> <p>(外部評価) 看護職員を配置しており、24時間いつでも相談できるような体制を作っている。受診支援は、家族と協力し合って支援している。</p>	
31		<p>○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 日常生活の中で一人ひとりの変化に気づき看護師と共に職員全員が変化・対応方法等の情報を共有し統一したケアが行えるように努めている。また、看護師が往診や受診時に適切に主治医に伝達出来るよう密に連携が図れている。</p>	
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価) 長期入院により、重度化しないように、病院と密に連絡を取り合い、利用者の心身の状態を把握するようにしている。</p>	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 「看取りに関する指針」「看取り介護についての同意書」にて、入所時に、本人・家族に説明し、同意を得ている。入院治療が必要となるまで、全介助状態になっても介護支援をしている。</p> <p>(外部評価) 入居案内時に「医療が必要になったら退居となる」ことを家族に説明している。「事業所で最期まで」と希望する家族もいるが、最期は病院を選ぶような場合が多いようだ。法人代表者は、今後、希望があれば、看取りを支援できる職員研修等のメンタル面の研修等にも取り組みたいと考えていた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  冷静かつ適切な動きが身に付くように防災訓練を行っている。消防の方にAEDの取り扱い説明や応急処置など訓練の項目に入れ定期的に取り組んでいる。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)  災害種別のマニュアルを作成し、迅速に対応が出来るよう努めている。また、年2回避難訓練と緊急連絡網を行い、実践力が身に付くよう取り組んでいる。	
			(外部評価)  4月には消防署の協力を得て日中の火災を想定した避難訓練を行った。2月には夜間想定避難訓練や通報訓練を行った。消防署からの資料をもとに内部研修を行ったり、運営推進会議時には、地域の方から山の中腹にある貯水池の決壊についての情報提供があった。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)  一人ひとりの想いを尊重し人生の先輩として敬い、一人ひとりのプライバシー確保にも十分注意を図り努めている。	
			(外部評価)  管理者は、ミーティング時に「過剰な介護はしない」ことを職員に話している。更衣の際には自分で洋服を選べるように支援している。調査訪問時、昼食後の様子の中には、職員のペースで誘導等して支援するような場面がみられた。	この機会を活かして、利用者主体の生活を支援できているか点検してはどうだろうか。利用者が選んだり決めたりするような場面を増やせるよう支援し、個々の生活への自信や意欲につなげてほしい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)  本人の想いを尊重し、自分のしたい事・希望や要望を表に出して頂けるように信頼関係を築き、入居者本位の生活が送れるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入居者の自由を尊重し、好きな時に好きなことを好きなようにしていただくことを基本にしている。一日の中で一回は小集団の場で、スタッフや他の利用者との関わりや活動を楽しんでいただけるよう配慮している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 自分で着たい服が選べるよう支援している。また職員と一緒に買い物行事に行き、自分で服を選び購入出来るようが外出支援も行っている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 高齢者の好みや味に合わせ、旬の食材をふんだんに取り入れて、一人一人の状態に合わせ食事形態を変更しその人に合ったケアを行っている。食前には口腔体操を行い、誤嚥防止の対策も取り入れている。	
			(外部評価) 調理専門の職員を配置しており、旬の食材を使って食事を作っている。パンが好きな利用者には、朝食の主食はパンを用意している。それぞれに箸や湯飲み等自分の物を使用している。重度で寝たきりの利用者には、起きている時を見計らって食事できるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量・水分量を記録に残し、不足分を確認して主治医と相談しながら、栄養補助食品等で対応している。食事作り専門の職員を配置しており、栄養のバランスのとれた食事を提供することができている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、入居者の状態に合わせて口腔ケアの介助や支援をしている。誤えん性肺炎の予防や清潔の保持に役立っており、利用者の健康維持にもつながっている。不穏な時には無理強いをせず夜間はポリドントを使用している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日中は、可能な限りトイレを使用していただき、一人一人の排泄パターンの把握に努めている。プライドを気付けないよう声掛けに配慮し自立に向けた支援を提供している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ポータブルトイレを認識できるようにトイレと表示していた。目のみえにくい方でも、トイレの手すりの位置を把握しやすいように、手すりに赤色のビニールテープを巻き、目立つように工夫している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食物繊維の多い旬の野菜や、寒天ゼリーを毎日献立して取り入れている。体操・散歩・歩行練習など日課として実施している。排便チェック表に記録を残し、必要に応じて薬での対応もしている。</p>	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者と一対一で関われる大切な時間であり、本人に希望や要望を伺い楽しい時間を過ごして頂けるよう心掛けている。また全身の観察を行い処置が必要な場合は看護師を呼び迅速に対応している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>2日に1回、午後から入浴できるよう支援している。利用者によっては、好みのシャンプーや洗身用タオルを用意している。入浴前には、利用者個々に浴槽で温まるかシャワー浴にするか聞き支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日中の活動内容を増やし、昼夜逆転の防止に努めている。毎食後、居室での休息の時間を設け、心身の安定につなげている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬局から出される薬に全職員が理解を深めている。服薬支援は、利用者名・期日・朝昼夕を声に出して読みあげてから利用者に手渡し、飲み込みの確認をしている。症状の変化の有無にも留意し、素早く対応している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 入居者一人一人の能力を存分に生かして頂くために、掃除や洗濯等家事手伝いを職員と一緒にやっている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気のいい日には、近くの公園や川沿いに散歩に出かけ、ベンチでお茶をしたり、鯉に餌やりをして楽しい時間を過ごしてる。また、一緒に買い物に出かけたり、季節の花をドライブして見にいたり、最近では娘さん・お孫さんと市内観光を実現する事が出来た家族もあり、本人希望やご家族の思い・要望を少しでも実現出来る様に心掛けている。 (外部評価) 車イスの利用者も職員が支援して、玄関前や近くをまわる等して外で過ごせるよう支援している。調査訪問時には、麦わら帽子をかぶった車いすの利用者が、職員と一緒に出かける様子が見られた。計画を立て季節に応じて、ぶどう狩りや花見等に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 事務所で保管・管理をしている。買い物をする時は、利用者自身がお金を使えるよう支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族から電話があった場合は自室で安心して電話できるよう配慮している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) プランターで四季折々の花を育てたり、玄関内には、観葉植物や季節の行事に関連したグッズを置き、季節感を演出している。屋内は、清潔・整理整頓を心がけ、壁面には、行事の写真や利用者の作品を展示し、入居者が安全に気持ちよく過ごしていただけるよう、又職員が能率よく介護業務ができるよう努めている。</p> <p>(外部評価) 玄関までのアプローチには、花や緑を整備している。室内は職員が掃除を行っており、行き届いていた。テレビと並んで窓際にソファを置いており、冬場は窓から陽が入り、背中があたたかいようだ。テーブル席のほかに、カウンター前に長テーブルがあり、調査訪問時には職員が食事をしていた。</p>	<p>さらに、職員は、寝たきりの利用者も居間で皆と過ごすような時間を持てるよう支援したいと話していた。利用者個々がくつろいで過ごせるような空間作りに向けて、配置や雰囲気作りに工夫してほしい。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 個々が自由にリビングを共有出来るような環境作りに心掛けている。また、歩行や通道のスペースを確保しており、スムーズに動け居心地の良い空間で過ごして頂けるように努めている。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) ご自宅で使用していた物(家具・寝具・衣類・TV・鏡台等)を持参され、居室内も好みのグッズや思い出の写真等で飾るなど、本人にとって居心地の良い空間になるよう家族と協力して目指している。</p> <p>(外部評価) 訪問リハビリの指導のもと、カレンダーにリハビリメニューを記入して取り組んでいる方がいる。家族来訪時には座って話ができるようパイプイスを用意している。写真や誕生日プレゼント等を貼っている方もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) 手すり・介護用具を活用して、安心して移動できるよう配慮している。また、安全面にも目を配り、利用者の自立支援に向けての努力をしている。</p>	